

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 12 月 1 日作成 第 1.0 版

研究課題名	前立腺全摘術における神経温存に関するアンケート調査
研究の対象	2025 年 8 月 22 日～2025 年 11 月 10 日にアイブリッジ株式会社により実施された前立腺全摘術における神経温存に関してのアンケートに回答した方を対象とします。
研究の目的	前立腺全摘術における「神経温存手技」については「癌の根治性」と「生活の質」のトレードオフを伴う選択となりうるため、患者さん自身の価値観に基づいて意思決定することが重要となります。患者がどのような情報を重視し神経温存の希望を判断されるかについては体系的に検証されたデータは乏しい状況です。本研究では神経温存に関する患者の価値観や意思決定プロセスの特徴を明らかにすることを目的としています。
研究の方法	アイブリッジ株式会社のアンケート調査を元に神経温存希望する割合を調査します。すでに実施されているアンケートの結果を用いて実施しますので、アンケートに回答された方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 1 月 28 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2026 年 1 月 28 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】実施したアンケートの回答から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・ 神経温存の希望の有無・ 神経温存希望割合と各国の性活動の関連の調査
試料・情報の 授受	本研究では、個人が特定できないよう加工した情報の提供を受けて行います。 パスワードで保護したデータをアイブリッジ株式会社のクラウドよりダウンロードします。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管 理	本研究では、個人を特定することができないよう加工されたデータセットの提供を受けて実施されるため、アイブリッジ株式会社においても当院においても必要時に個人を照合できるよう管理する表を作成しません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長ではありますが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 山崎将頌</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織（利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 （研究責任者）山崎将頌</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
<p>問合せ先</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科</p> <p style="text-align: right;">（研究責任者・問い合わせ担当者）山崎将頌</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-1962</p>	